

## 中津市歴史博物館特別展

## 「学問に凝る勿れー中津の社会、学問、学者たち」を開催します！

担当：歴史博物館 松岡・三谷（電話 0979-23-8615）

中津市歴史博物館にて、特別展「学問に凝る勿れー中津の社会、学問、学者たち」を開催します。福澤諭吉は著書「学問のすゝめ」において、近代化には国民が実用の学問を学び、身分差別をなくし、個人と国家が独立することが重要であると説きました。福澤の学問への姿勢は長崎での蘭学修行や適塾、欧米での経験によるところが大きいですが、少年期に中津藩で学んだ漢学の素地も見逃すことはできません。中津では藩校・進脩館にて漢学中心の教育が行われ、一方で渡辺重名・重春らの国学、前野良沢・神谷源内・村上玄水が牽引した蘭学、近代化を担った人材を育てた中津市学校での洋学など、多様な学問が花開きました。奥平家の庇護によって学者たちは江戸や京都で学び、学者・文化人間のネットワークを形成し、幕末になると、藩士の思想に大きな影響を与えました。本展覧会では福澤諭吉や近代までつながる中津の学問の系譜を、著作や蔵書、書画作品などから紹介します。

## 特別展情報

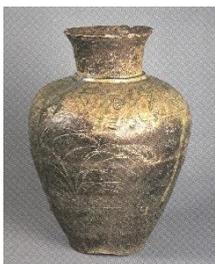
会期：令和6年12月21日（土）～令和7年2月9日（日）

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料：一般300円、団体100円、中学生以下無料

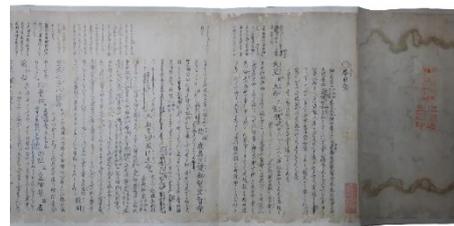
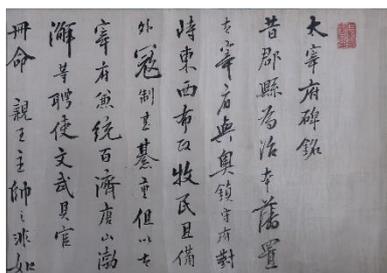
## 見どころ



**国宝** 秋草文壺（慶應義塾）  
戦後の文化財保護法における陶磁器部門の国宝第1号。中世陶器の名品で、ススキや蜻蛉が描かれた秋草文様の骨蔵器です。昭和17（1942）年、慶應義塾日吉キャンパスの台地にて発掘されました。

福澤百助旧蔵 上諭条例（慶應義塾図書館）  
福澤諭吉の父、百助の蔵書です。諭吉の名前の由来となった漢書です。昭和29（1954）年、中津の旧藩士の家から発見され、慶應義塾に寄贈されました。

唐蘭船持渡鳥獸之図（慶應義塾図書館）  
江戸時代後期に中国船・オランダ船によって長崎に渡来した珍しい鳥獸を極彩色で描いた図譜です。鳥獸の種類や寸法などの情報が記された本図譜は博物学史上において大変貴重な資料とされています。



辛島正庵肖像（個人）  
中津藩医で、長崎で修行して、蘭方医の免許を取得しました。肖像画の賛は、中津藩儒・藤田敬所が記しました。学者間の交流を示す、興味深い資料です。

太宰府碑銘（慶應義塾大学ス道文庫）  
福岡藩儒・亀井南冥自筆の大宰府の由来を記した碑文です。徂徠学派であった亀井は福澤の師・白石照山など、中津の学者にも大きな影響を与えました。

賀茂真淵自筆稿本 祝詞考（慶應義塾大学ス道文庫）  
賀茂真淵は、万葉集を研究し、国学を樹立した人物です。本居宣長など優秀な門人を育てました。3代藩主・奥平昌鹿は江戸で賀茂真淵に学びました。

### 関連イベント

#### ○記念講演及びディスカッション「中津の学問—漢学×国学」

場所：新中津市学校

登壇者：一戸渉（慶應義塾大学ス道文庫教授）

吉田洋一（久留米大学文学部教授）

日時：令和6年12月22日（日）13時30分～16時30分

#### ○ギャラリートーク

場所：中津市歴史博物館（展示室内）

日時：令和7年1月26日（日）、2月9日（日）

※要入館料、事前申込不要

#### ○江戸時代の教科書に触れよう！～和装本ワークショップ～

場所：中津市歴史博物館（プレイスタジオ）

日時：令和7年1月25日（土）10：00～11：00

14：00～15：00

※入館料不要、事前申込制（各回10人）、小学生は保護者同伴

#### ○福澤諭吉の字を書こう！「独立自尊」書初め

場所：中津市歴史博物館

日時：令和7年1月4日（土）～12日（日）

Society, Studies, Scholars of  
NAKATSU



唐蘭船持渡鳥獸之図  
(慶應義塾図書館)



解体新書

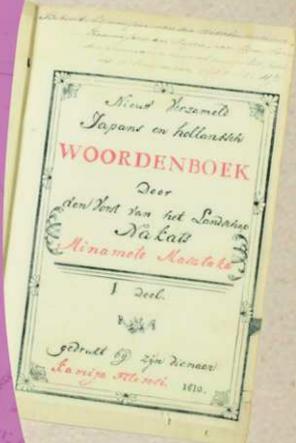
# 凝る勿れ 学問に

中津の社会・学問・学者たち

令和6年度  
特別展

先立其大者

伊藤東涯書(慶應義塾)



蘭語訳撰

ベル築城書  
(慶應義塾福澤研究センター)

2024.12.21(土) > 2025.2.9(日)

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料:一般300円、団体100円(20人以上)、  
中学生以下無料、障がい者割引有

後援:慶應義塾

渡辺重名肖像  
(個人)

辛島正庵肖像  
(個人、大分県立  
先哲史料館寄託)



中津市歴史博物館





# なかに 学問に凝る勿れ



2024.12.21(土) > 2025.2.9(日)

福澤諭吉は著書「学問のすゝめ」において、近代化には国民が実用の学問を学び、身分差別をなくし、個人と国家が独立することが重要であると説きました。福澤の学問への姿勢は長崎での蘭学修行や適塾、欧米での経験によるところが大きいです。少年期に中津藩で学んだ漢学の素地も見逃すことはできません。中津では藩校・進脩館にて漢学中心の教育が行われ、一方で渡辺重名・重春らの国学、前野良沢・神谷源内・村上玄水が牽引した蘭学、近代化を担った人材を育てた中津市学校での洋学など、多様な学問が開花しました。奥平家の庇護によって、学者たちは江戸や京都で学び、学者・文化人間のネットワークを形成し、幕末になると、藩士の思想に大きな影響を与えました。本展覧会では福澤諭吉や近代までつながる中津の学問の系譜を、著作や蔵書、書画作品などから紹介します。



国宝 秋草文壺

(慶應義塾、東京国立博物館寄託)



豊前城堡記(龍谷大学図書館)



適々斎塾姓名録(日本学士院)



賀茂真淵自筆稿本 祝詞考(慶應義塾大学斯道文庫)



福澤百助旧蔵 上諭条例  
(慶應義塾図書館)

イベント 予約は中津市歴史博物館まで 令和6年11月21日(木)より受付開始

要予約 定員:70名 参加費無料

記念講演・ディスカッション  
「中津の学問—漢学×国学」

講師 一戸 渉 (慶應義塾大学斯道文庫教授)  
吉田 洋一 (久留米大学文学部教授)

令和6年12月22日(日) 13:30~16:30  
場所:新中津市学校

要予約 定員:各回10名 参加費無料

江戸時代の教科書に触れよう!  
～和装本ワークショップ～

令和7年1月25日(土)  
①10:00~11:00 ②14:00~15:00  
場所:中津市歴史博物館  
※小学生以下は保護者同伴

事前申込不要 要入館料

ギャラリートーク

第一回 令和7年1月26日(日) 11:00~12:00  
第二回 令和7年2月9日(日) 11:00~12:00  
場所:中津市歴史博物館(展示室内)

事前申込不要 参加費無料

福澤諭吉の字を書こう!  
「独立自尊」書初め

令和7年1月4日(土)~12日(日) 開館時間に準じる  
場所:中津市歴史博物館



中津市歴史博物館

〒871-0057 大分県中津市1290番地(三ノ丁)  
TEL(0979)23-8615/FAX(0979)23-8616  
開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで)/駐車場:22台  
休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日~1月3日)



<http://nakahaku.jp>